

大健闘！6位入賞

若鷲杯

『予選』

十一月十九日、美山グラウンドでの大会にNeoチームが参加した。この日は大雨、最悪のコンディションの中二試合が行われ、雨を味方につけたNeoは一勝一分で初日を終えた。翌日の二十日（洛南浄化センター）。メンバーは前日の雨で体調を崩すこともなく残り二試合を戦い、前日同様一勝一分の結果で総じて予選を見事一位で通過した。

『最大のライバル』

十一月二十三日。この日は舞台を太陽が丘にうつし、予選の順位ごとのグループでトーナメントが行われた。初戦の相手はJFC・Jチーム。総力戦となったこの試合は、一進一退の攻防が続く中、3バック（エウタロウ、カオリ、ムサシ）、そしてGRイシイが体を張ってJの攻撃に対応した。全員が全力プレーで失点をわずかに抑えたが、Jの堅い守備を崩せずに結果は0対1。惜しくも敗れてしまった。しかし、Neoにとっては実り多い一戦となった。



絶対に、負けられない戦いがそこにはある！



【撮影・ユウダイ父】

『対 大山崎』

後期洛西地域リーグ戦で勝てなかった相手との一戦。試合は大山崎に押されてはいたものの、先制点を奪ったNeoは気持ちを一つに最後まで戦いぬき、一対〇で勝利。関西大会京都予選への切符を獲得した。

対戦結果

- 《一日目》
- ①三室戸… 1対1
 - ②北横島… 2対1
- 《二日目》
- ③小倉… 0対0
 - ④御蔵山… 1対0
- 《最終日》
- ⑤長岡J… 0対1
 - ⑥大山崎… 1対0
 - ⑦ソルセウA… 0対2

全四十八チーム中 第六位

戦う時は全員で

左腕負傷のため、一ヶ月以上戦線から離脱していたワタル選手。試合に出られなくても、いつも顔を出してベンチから熱い声援をあげる姿が、「戦う場所はコートの中だけではない」ことを私たちに教えてくれました。今回の大会でも、



声を出しあい「全員サッカー」でチーム一丸となったNeoのみなさん。決してあきらめず、勝機をつかんでください！



その涙がいつまでも君の背中を押しつづける

編集後記

白熱の三日間。選手たちの成長ぶり、そして緊張感のある試合にとても感動しました。「やればできる！」大雨を味方につけるNeoチームは、やはり「もってます！」運も実力のうち…でも、ここからは運をも上回る実力をつけられるよう、親としても精一杯サポートしていきたいです。

監督をはじめ、コーチ陣を含む保護者の皆様には親子ともどもいろいろと教わることもあり、本当に感謝しています。これから、ともに過ごす時間を大切に、心に残る思い出をもうひとつとらくりましょう。

※対J戦では全員が素晴らしいプレーをしていましたが、特にお互いの守備がよかったので記事に取り上げました。

